

香港2026 U20アジア陸上競技選手権大会
日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2026年U20カテゴリーの最重要競技会である、オレゴン2026 U20世界陸上競技選手権大会の成功を念頭におく。そのため、以下の2つの戦略をもって選手団を編成する。

- 1) オレゴン2026U20世界選手権での活躍、かつ、本大会で優勝が期待できる競技者。
- 2) ジュニア期の育成過程に配慮し、シニアカテゴリーでの強化につながるよう、本大会の入賞が狙える競技者で幅広い種目の派遣を行う。

2. 開催地

香港

3. 開催期間

2026年5月28日(木)～31日(日)

4. 開催種目(予定) ※大会詳細情報の発表後、変更・追加となる可能性がある。

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、110mH(99.1cm)、400mH(91.4cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6kg)、円盤投(1.75kg)、ハンマー投(6kg)、やり投(800g)、十種競技

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、100mH(83.8cm)、400mH(76.2cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4kg)、円盤投(1kg)、ハンマー投(4kg)、やり投(600g)、七種競技

(3) 混合

4×400mリレー

5. 選考基準

編成方針に基づき、2025年4月1日(火)から2026年3月29日(日)までのWRk競技会による記録を対象に、ワールドアスレティックス(以降WA)のSeason Top Lists*から、以下の優先順位で出場意思のある選手を選考する。

- 1) 2025年U20世界トップリスト(1か国2名)*において、8位以内に入る競技者。

※2006年生まれの競技者を含めたトップリストとする。

- 2) アジアU20トップリスト*において、1位の競技者。*1

同記録が生じた場合、セカンド記録(サード記録以降も同様)を比較して選考する。*2

・U20規格とシニア規格で異なる種目(男子110mH、砲丸投、円盤投、ハンマー投)は、U20規格で選考する。

・十種競技は、シニア規格とU20規格両方のトップリストを見るが、同順位となった場合は、U20規格を優先する。

- 3) 1)、2)で選出された種目を除き、アジアU20トップリスト(1か国2名)*において、8位以内に入る最上位の競技者。*1 ただし、トップリストの上位者から選考する。
同記録が生じた場合、セカンド記録(サード記録以降も同様)を比較して選考する。*2
- ・U20規格とシニア規格で異なる種目(男子110mH、砲丸投、円盤投、ハンマー投)は、U20規格で選考する。
 - ・十種競技は、シニア規格とU20規格両方のトップリストを見るが、順位の高い方の競技者を選考する。同順位となった場合は、U20規格を優先する。
- 4) 本大会においてメダル獲得が期待され、強化委員会強化育成部が推薦する競技者。

(2) 競歩
調整中

(3) リレー種目

個人種目への出場を優先し、個人種目のエントリー者の中から、リレーへの出場意思のある競技者で代表チームを編成する。

* WAのSeason Top Lists(世界／アジア U20トップリスト)

<https://worldathletics.org/records/toplists/sprints/100-metres/all/women/senior/2025>

*1 2006年生まれの競技者を除いたランキングとする。

*2 本要項におけるセカンド記録(サード記録)とは、2025年4月1日(火)から2026年3月29日(日)までの競技会(WRk競技会に限らない)の競技成績(最終リザルト)の自己2番目の公認記録とする。途中試技の記録は含まない。

6. 選考方法

選考基準に則り、強化委員会強化育成部にて選考原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

7. 補足

- (1) 対象者は 2026年12月31日時点で16歳、17歳、18歳または19歳の2007年、2008年、2009年、2010年生まれ
の競技者。
- (2) 2009年、2010年生まれのユース競技者が出場できる種目数は最大で個人2種目と、いずれかのリレー1種
目までとする。個人2種目がトラック種目である場合、200mを超える種目は1種目までとする。
- (3) 各種目2名まで出場可能。ただし、派遣人数はアジア陸連が定めるエントリー数の上限の枠を保証する
ものではない。
- (4) 代表選手は本連盟または大会主催者(アジア陸上競技連盟)が定める義務及びその他必要事項を遵
守するものとする。(下記参照)
<https://www.jaaf.or.jp/about/rikuren/guidelines/>
- (5) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記(4)を遵守しない場合
- (6) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要が
あると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (7) 天災、疫病の流行、社会情勢、主催者の指示等の理由により、選考基準、本大会への派遣について、専
務理事の決定において変更することができる。

以上